

## 東洋陶磁学会 2011年(平成23年)度 事業報告

---

### 総会

日 時 平成23年5月14日(土)午後1時～

会 場 東京藝術大学美術学部 中央棟2階第3講義室  
(台東区上野公園 12-8)

特別報告『世界の陶磁史研究動向』

- ・「北京故宮博物院『宋代官窯及官窯制度国際学術研討会』」中澤富士雄
- ・「メトロポリタン美術館『クビライ・ハーンの世界展』と  
北京故宮博物院『明前期官廷芸術国際シンポジウム』」弓場紀知
- ・「日本における『ルーシー・リー展』と『ハンス・コパー展』」唐澤昌宏

### 大会(参加者122名)

日 時 平成23年11月26日(土)・27日(日)

会 場 根津美術館

テーマ 「東洋陶磁研究の100年を振り返る(東洋陶磁史はどのように語られてきたか)」

日 程

11月26日(土)午後1時30分～

- ・東洋陶磁学会常任委員長挨拶 今井 敦
- ・基調講演「師奥田誠一先生を語る」 林屋 晴三
- ・研究発表

「大河内正敏、奥田誠一と陶磁器研究会／彩壺会／東洋陶磁研究所—大正期を中心に」木田 拓也

「近代における古陶磁市場の変遷—中国陶磁を視点に」 川島 公之

- ・見学会

受贈記念特別展「中国の陶磁・漆・青銅」根津美術館

11月27日(日)午前10時15分～

- ・研究発表

「近世考古学と陶磁史研究」 渡辺 芳郎

「古九谷研究の変遷について—美術史学と陶磁史研究」 今井 敦

「近・現代における京焼評価の変遷—京焼の名工論に関する一考察—」 森下 愛子

「中国陶磁研究の礎—R.L.Hobsonと小山富士夫」 三笠 景子

「韓国における陶磁史研究と作品評価の変遷—解放から一九七〇年代までを中心に」 樋口とも子

「明治・大正・昭和期の東南アジア陶磁研究」 矢島 律子

「大正～昭和初期における近代数寄者の影響—茶陶コレクションの形成と公開に関連して」横山 梓  
「古陶磁と近代の陶芸家—鑑賞と制作」 花井 久穂

#### 研究会 4 回

7 月 9 日(土) 1:30 pm 三井記念美術館

岡本隆志(宮内庁三の丸尚蔵館) 「三和高麗焼をめぐって—近代日本の高麗青磁復興」

今井 敦(東京国立博物館) 「江戸時代後期の伊万里染付大皿にみられる〈中国趣味〉について」

9 月 17 日(土) 1:30 pm 学習院大学 北 2 号館(文学部研究棟)10 階 大会議室

小松久人(学習院大学) 「板谷波山の古典学習について」

荒川正明(学習院大学) 「波山陶芸の舞台裏—田端窯跡出土資料からの新知見—」

2012 年

1 月 21 日(土) 1:30 pm 学習院大学 北 2 号館(文学部研究棟)10 階 大会議室

金 東均(学習院大学) 「近世初期肥前陶磁に見られる鶴の意匠—朝鮮陶磁との交流を中心に」

2 月 26 日(日) 1:30 pm 東京国立近代美術館(本館)講堂

海外調査報告

「明治期に海外流出した近代工芸作品の調査」

「イギリスの明治工芸」

唐澤昌宏(東京国立近代美術館)

服部文孝(瀬戸市美術館)

「フランスの明治工芸」

北村仁美(東京国立近代美術館)

三上美和(京都造形芸術大学)

「アメリカ東部の明治工芸」

諸山正則(東京国立近代美術館)

「アメリカ中部の明治工芸」

横溝廣子(東京芸術大学大学美術館)

「アメリカ西海岸の明治工芸コレクション」

木田拓也(東京国立近代美術館)

#### 学会誌

第 41 号:平成 24 年 3 月 31 日発行

「中世のやきもの」(第 38 回大会発表を中心に)

#### 会報

第 74 号:平成 23 年 7 月 15 日発行(考古編)

第 75 号:平成 23 年 9 月 30 日発行(総会特別報告編)

第 76 号:平成 24 年 3 月 15 日発行(大会記念講演編)

#### **常任委員会**

第 1 回:平成 23 年 4 月 17 日 於三井記念美術館

第 2 回:平成 23 年 5 月 14 日 於東京藝術大学

第 3 回:平成 23 年 10 月 2 日 於出光美術館

第 4 回:平成 23 年 11 月 26 日 於根津美術館

第 5 回:平成 24 年 3 月 3 日 於出光美術館

**編集委員会:**メール会議

**会員拡充:**新入会員 22 名(退会者 32 名、住所不明者 3 名)

#### **その他**

学会誌バックナンバー配布